

東京聖栄大学

後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

◆産学連携による幼稚園における食育◆



▲▼園児に手作りうどん指導



食育パフォーマンス

管理栄養学科四年次生が東京聖栄大学附属わたなべ幼稚園において、産学連携事業として「稲庭まごうどんを用いた食育（秋田県稲庭うどん協同組合後援）」を実施した。参加学生は「主食」の大切さについてのパフォーマンスや手作りうどん指導等を通して食育を実践した。

会長挨拶

後援会会長 土屋 和夫



日ごとに春めいてまいりましたが、後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度卒業されます健康栄養学部管理栄養学科・食品学科の皆様方には誠にありがとうございます。

います。

卒業されるご子息、ご息女の皆様を温かく支えてくださったご家族の皆様のお慶びはいか程かと拝察申し上げます。

今年度卒業される皆様は、東京聖栄大学の第六回目の卒業生となられます。「食」は、私たちが健康な暮らしを送っていく上で最も重要なことのひとつです。食生活と健康とが切り離せない関係にあることが再認識されつつあり関心が深まっている

昨年、この四年間学んで来られた「食」についての知識を存分に活かされ社会に貢献されることを期待しております。卒業生の皆様、これから生きていく中で、「自分に誇りを持ち、自分を信じ、自分らしく、媚びない人生を生きていってほしい」と願っています。

最後にありますが、東京聖栄大学の教職員ならびに関係者の皆様には熱心なご指導、ご鞭撻を受け賜り深く感謝申し上げます。

これからも、東京聖栄大学と卒業生の皆様、後援会の皆様方の益々のご発展を心からご祈念し挨拶とさせていただきます。

平成二十五年年度保護者会報告

保護者会(後援会・大学共催)

が平成二十五年九月二十八日(土)、七十五名の保護者の参加のもと開催された。はじめに本学一号館四階の講堂で行われた全体会では、土屋和夫後援会長、阿左美章治学部長の挨拶ののち、「各学科の現状と課題(報告)」と題して田所忠弘管理栄養学科長、丸井正樹食品学科長よりそれぞれ報告が行われた。

続いて会場を移し学科・学年別の懇談会がクラス担任を中心に行われた。履修や就職活動、国家試験、家庭での様子などについて、参加者全員での懇談や個別での面談形式により、担任と保護者の間で情報提供や意見交換がなされた。

その後多目的ホールにて希望者のみの参加で行われた情報交換会では、教科担当や研究室指導教員など学年担任以外の教員も交えて活発な意見交換が行われ、有意義な時間が持たれた。

懇談会では学年別懇談会とは違った雰囲気、身近に先生・職員方と忌憚なく懇談し、先生方の人柄に触れることができました。次年度も是非参加したいと今から楽しみにしています。



保護者会

保護者会に参加して

1 N A 井筒 紀子

「管理栄養士になりたい!」との夢の実現の為に念願叶い東京聖栄大学に入学して早いもので半年。大学での様子を殆ど話さない娘の学校生活を知る良い機会だと思い保護者会に参加しました。

全体会では管理栄養士国家試験合格率や就職状況等の報告から将来を見据えての教育方針に改めて感銘を受けました。学年別懇談会では授業の様子や学生一人一人に対する熱意に感謝し改めて先生と学生、保護者の距離が近い大学だと感じました。また、保護者同士の意見交換も活発に行われ保護者としての悩みに共感し、参考にしたい意見も多く勉強になりました。

懇親会では学年別懇談会とは違った雰囲気、身近に先生・職員方と忌憚なく懇談し、先生方の人柄に触れることができました。次年度も是非参加したいと今から楽しみにしています。

管理栄養学科

就職課程のスタート

管理栄養学科長 田所 忠弘

四年次生は管理栄養士国家試験合格に向け、ラストスパートをかけ真剣かつ必死に取り組んでいる時期となった。一方では、いよいよ卒業も間近、四月からはこれまでの勉強環境から社会人として新たな仕事に従事しなければならぬ準備も含めて大変忙しい春を迎えることとなる。しかしながら学生達はこれらの全てをこなしながら大学生生活を過ごし現在に至っており、その到達感、達成感や満足感も学生自身の成長と向上には欠くことのできない要素であるので、褒めて頂ければ幸いである。学生自身、在学中は大学の良さがなかなか分からないものであるが、卒業後に振り返ってみると様々なお世話になった部分で郷里のごとく懐かしさとなって戻ってきて、自信を持った自分に改めて気が付くことと思う。

さて、平成二十六年度からは本学科にも栄養教諭の資格が取得できる就職課程がスタートする。管理栄養士国家試験合格者



臨地実習報告会

数も大変重要ではあるが、それ以上に社会が大学に求めている実力のある、かつ東京聖栄大学生らしい特徴を兼ね備えた管理栄養士になるためにも学生の夢に答えられる学科のシステム作り、つまり学生が将来の選択肢を少しでも多く持てるよう常に努力している。今回、就職課程申請とその設置が許可にいたるであろうことは誠にうれしい限りである。これまでのゼミナール体制も教員と学生との間断のない絆を太くすることに益々役立ってきている。本学科生全員がこれらを余すことなく享受し、自らの能力を益々向上できるように願っている。また、東京聖栄大学後援会の皆様にも改めて様々なご協力、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

食品学科

地域共創から学ぶ

食品学科長 丸井 正樹

地域社会と大学とのつながりに注目されている昨今である。食品学科も、本学の教育方針の一つとなつている「地域社会に貢献する」を踏まえ、管理栄養学科とともに取り組んでいる。その活動を大学に近い所からみると、新小岩北口商店会企画のイベントへの参加や「大学通り」の清掃などを調理学系研究室が中心になり積極的に行っている。葛飾区とは、「学生ボランティア」として小中学生の食やクラブ活動に関連した催しに参加するほか、区から提供される花の苗を季節ごとにプランターに植えて「きれいで清潔なまちをつくる条例」に一役買っている。さらに、福島県塙町と食に関する共同研究などを通して交流している。塙町は大学近くに「ダリちゃんショップ」という農産物を販売するアンテナショップを開いており、これにも学生たちが協力している。このほかにも次年度からカリキュラムに組み込まれるキャリア教

育の一環であるフィールド研修に関連して長野県伊那市の物産展を食品学系研究室が『聖栄葛飾祭』で催している。

これらの活動において学生は各地域で多くの人と触れ合い、それにより自身が磨かれて成長している。この成長は教室で講義を聴いているだけでは身に付かないものであり、教員によって成績として評価されるのではなく、地域の人や身の周りの人々から評価されるものである。まさに地域は学生のもう一つの学びの場でもある。地域で得た知識と経験は素敵な社会人を作り上げ、その彼らに立派な活躍が期待できる。そのような卒業生がこれから増えていくのである。



福島県塙町産業祭に参加協力

学生支援センター

「学内企業説明会」

延べ三十一社が来校

就職活動は三年次から本格的

に開始となり、十二月の就職活動解禁日前の十一月下旬に業界説明会を二日間に亘り実施した。後期試験終了後の二月には学生支援センターが行う就職支援事業で最も大きなイベントである学内企業説明会を開催した。二月十二・十三日は主に管理栄養士職採用企業から計十五社、十八・十九日は食品関連企業から計十六社の人事担当者が来校され、企業説明等を実施した。

参加した学生は熱心に説明を聞き、積極的に質問等をし、各企業が求める人物像等、多くの情報を得ていた。

学内企業説明会参加企業様からは例年多くの内定を頂いており、今年も多くの内定が頂けることを期待している。

就職希望者は、今後開催する就職関連行事にも積極的に参加し、多くの情報を収集し積極的に就職活動を継続してほしい。



学内企業説明会

平成25年度 東京聖栄大学フォトグラフィ



入学式
(H25.4.1)



学生会総会・部・同好会説明会
(H25.4.12)



体育祭
(H25.5.24)



奨学金授与式
(H25.6.7)



7号館竣工
(H25.9.5)



柴又宵祭り
(H25.9.14)



東京都食育フェア
(H25.10.12~10.13)



かつしかスポーツフェスティバル
(H25.10.14)



1年次生キャリアガイダンス
(H25.10.24)



聖栄葛飾祭
(H25.11.9~11.10)



管理栄養士企業説明会
(H25.11.18)



防火・防災訓練講習会
(H25.11.20)



食品関係業界企業説明会
(H25.11.25)



グループディスカッション講座
(H25.11.27)



4年次生による就職体験講話
(H25.12.9)

後援会役員寄稿

後援会役員 中嶋 悦子



春色なごやかな季節、後援会の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

この度ご卒業される皆様にとつて東京聖栄大学での四年間、充実した学生生活でしたでしょうか。学生生活と言うもの目的意識がなければあつと言う間に過ぎ去るものですが、常に目標を持ちそれに向かって毎日友人と励まし努力して行くことを大学の特徵でもある少人数制によるきめ細かい教育で教えて頂けたと感謝しております。

社会に出ても自分の目標に向かって行く力こそこれからの人生においてどれだけ大事なことになるのか気づくことでしよう。学生生活で学んだことを生かし、自分の目標に向かって大きく羽ばたいて頂きたいと思えます。「望めば叶う」心に強く抱いて下さい。

今後とも東京聖栄大学の益々のご発展と理事長先生・学長先生を始め教職員の皆様のご健勝を祈念致しますと共に、卒業生の皆様の今後のご活躍を期待しております。

進路状況

平成二十五年度卒業生の就職内定状況は、二月末日現在で昨年同日比プラス〇・二ポイントの八三・二％であり、昨年に比べ若干改善された。

学科別では、管理栄養学科は管理栄養士職を中心に昨年同日比マイナスイ・三ポイントの八七・五％の内定率となっている。食品学科は、今年も多くの学生が食品企業の研究・技術・製造職や調理職などに内定しており、内定率は昨年同日比プラス一・二ポイントの七四・四％である。今年では東京都特別区食品衛

4年次生の主な就職予定先

【就職】

<管理栄養士・栄養士職>

(病院) (医社)三友会 三枝病院、(医社)順江会 江東病院

(福祉施設) (医社)湖聖会 純恵の郷、(社福)正吉福祉会、(社福)千手会 さくら福寿苑、(社福)高嶺福祉会 さつまの里、(社福)常盤会 本部園

(保育園) さくら学園保育所、すえひろ保育園、原木保育園、広尾みらい保育園、南船橋保育園、わらべみどり保育園、チェリー保育園、(株)マミースエンジェル

(給食会社) 栄養食(株)、エームサービス(株)、(株)グリーンハウス、シダックス(株)、ジャパンウェルネス(株)、西洋フード・コンパスグループ(株)、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)ニッコトラスト、日清医療食品(株)、日本給食サービス(株)、ハーベスト(株)、(株)パンブキンスコーポレーション、富士産業(株)、ベストフードサービス(株)、(株)レクトン、(株)LEOC、(株)日京クリエイト、日本医療サービス(株) (薬局・その他) (株)ファンデリー、(株)マツモトキヨシ、(株)美高商事

<一般企業>

イオンペーカリー(株)、一富士フードサービス(株)、イニシオフーズ(株)、イフスコヘルスケア(株)、おひつ膳田んぼ、(株)神戸ゴマルゴ、(株)こだわりや、(株)サイゼリア、佐川急便(株)、(株)ジェイプロジェクト、(株)ゼンショーホールディングス、チムニー(株)、(株)テラケン、(株)ニッセーデリカ、(株)ノジマ、(株)梅林堂、(株)パティスリードパラディ、(株)ピックモーター、(株)フォンス、(株)ブロンコピリー、(株)ボンパドウル、(株)もぎキム、(株)物語コーポレーション、(株)グローバルエース

<食品衛生監視員>

東京都特別区

<学校>

(学)後藤学園 武蔵野栄養専門学校(助手)

生監視員職の公務員試験に一名が合格した。 学生支援センターでは、関係教職員との連携を強化し、就職未内定者への就職支援を継続していく。未内定者は積極的に学生支援センターを利用し、諦めずに就職活動を継続してほしい。

就職戦線は本格化していく。学生支援センターでは学生の希望進路実現に向けて全力で就職支援をする。

学友会活動報告

●聖栄葛飾祭(大学祭)

十一月九日(土)・十日(日)に『聖栄葛飾祭』が開催され、多数の来場者があり成功裏に終

了した。『聖栄葛飾祭』での収益金の一部は、東日本大震災義援金やチャリティー金としており、葛飾区社会福祉協議会より表彰を受けた(写真)。



平成26年度 学年暦

Table with 2 columns: Date and Event. Includes dates from April 1st to March 31st with events like '入学式', 'ガイダンス', '前期授業開始', etc.

平成二十六年度 後援会総会開催について

平成二十六年四月一日(火)

一.日時

午前十一時頃 (入学式に引続き)

二.場所

わたなべ記念館(講堂) 一時間程のお時間です。ご出席戴きますようお願い致します。